

守谷市公共下水道事業 経営戦略 投資・財政計画に基づく目標値 進捗管理

投資計画

指標名	単位	算出方法	策定期 平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標 令和10年度	評価(令和6年度)
施設利用率	%	晴天時一日平均処理水量 /晴天時現在処理能力×100	68.27	67.96	67.54	67.09	69.42	66.82	66.39	64.69	≥70.00	目標値に近い値で推移しており、全国平均58.94%(令和5年度実績)よりも高く推移していることから、比較的効率的な施設利用が行えているといえる。
水洗化率	%	現在水洗便所設置済人口 /現在処理区域内人口×100	99.06	99.10	99.17	99.21	99.24	99.27	99.31	99.32	≥99.27	全国平均95.91%(令和5年度実績)よりも高く推移しており、安定的な使用料収入の確保に寄与している。
管路老朽化率	%	法定耐用年数を経過した管路延長 /下水道布設延長×100	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	≤1.45	法定耐用年数を経過した管路がまだ無いため、老朽化率はゼロとなっている。
管路改善率	%	改善(更新・改良・修繕)管路延長 /下水道布設延長×100	0.00	0.03	0.05	0.02	0.01	0.00	0.00	0.00	≥0.52	老朽管等の管路の更新事業については令和10年度からを予定していることから、現時点における管路改善率はゼロとなっている。

財政計画

指標名	単位	算出方法	策定期 平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標 令和10年度	評価(令和6年度)
経常収支比率	%	経常収益/経常費用×100	116.18	110.18	116.12	114.80	122.90	115.97	114.81	114.03	≥100	経常収支比率は100%以上を維持しており、令和6年度においても黒字経営となっている。今後も引き続き健全経営を継続していく。
累積欠損金比率	%	当年度未処理欠損金 /(営業収益-受託工事収益)×100	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	累積欠損金は生じておらず、健全経営を維持しており、指標も0%のまま推移している。
流動比率	%	流動資産/流動負債×100	811.44	832.91	914.14	1,192.98	1,015.54	677.69	849.34	1,024.17	≥586	100%以上となっており、短期的な債務に対する支払能力についても問題はない。
企業債残高対 事業規模比率	%	(企業債現在高合計-一般会計負担額) /(営業収益-受託工事収益-雨水処理負担金) ×100	206.54	186.20	172.13	172.49	144.57	130.13	108.06	91.51	≤41.68	事業規模(主に下水道使用料)に占める企業債残高は、全国平均630.82%(令和5年度実績)よりも低く推移しており、令和6年度においても新たな起債は無く、健全経営を維持している。
経費回収率	%	下水道使用料/汚水処理費 (公費負担分を除く)×100	124.77	112.59	151.58	127.49	138.43	122.63	124.73	118.59	≥121.36	経費回収率は100%を超えており、使用料で回収すべき経費を使用料で問題無く賄えている。
汚水処理原価	%	汚水処理費(公費負担分を除く) /年間有収水量	106.40	117.79	86.38	93.23	91.34	103.32	101.82	107.00	≤104.40	汚水処理原価は、全国平均138.75%(令和5年度実績)よりも低く推移している。今後も費用の抑制に努め、適正な収支バランスを維持していく。
有形固定資産 減価償却率	%	有形固定資産減価償却累計額/有形固定資産 のうち償却対象資産の帳簿原価×100	43.91	45.92	47.69	49.79	51.92	53.76	55.59	57.61	≤64.00	固定資産の構築から相当程度期間が経過しており、資産の老朽化が進んでいる。今後は、適切な施設の更新計画に基づき、施設の老朽化を改善していく。

※各種指標は「地方公営企業決算状況調査」を基に算出しています。

※公営企業会計における経常収支比率は100%以上で単年度収支が黒字であることを示しており、一般会計における同指標とは算出方法や判断基準が異なっています。